

2024年回顧 [海外SF編] オススメリスト

SFファン交流会2月例会資料 / 提供・中村融氏、冬木系一氏

中村融選 ベスト5

1	『電脳之歌』	スタニスワフ・レム	芝田文乃 訳	国書刊行会	
2	『いつかどこかであった場所』	サラ・ピンスカー	市田 泉 訳	竹書房	
3	《荒俣宏幻想文学翻訳集成》1『妖精幻想詩画帖』（19編） 2『イギリス寒雪夜がたり集』	ロード・ダンセイニ、ジョージ・マクドナルド、 ダンテ・ゲイブリエル・ロゼッティ、フィオナ・ マクラウド、A・E・コッパードなど	荒俣宏	春陽堂書店	荒俣宏による半世紀にわたる幻想文学翻訳の集大成 2026年3月30日発売予定：第三巻 アメリカ異世界冒険譚：欧米幻想ファンタジー精華
4	『フェアリー・テール』上下	スティーヴン・キング	白石 朗 訳	文藝春秋社	
5	『絶滅の牙』	レイ・ネイラー	金子浩 訳	創元SF文庫	

中村融選 おまけ：古典ということで

6	『ユートピア文学選集』	エミール・ゾラ、ヴィクトル・ユゴー、シャルル・クロほか	小倉孝誠 監訳	平凡社ライブラリー	
7	『ドーキングの戦い：ある英国篤志隊員の回想録』	ジョージ・トムキンス・チェスニー	深町悟 訳	国書刊行会	
8	『火災人類』	オラフ・ステーブルドン	浜口稔 訳	ちくま文庫	

冬木系一選 ド真ん中のおすすめ

	『バベル オックスフォード翻訳家革命秘史』 上・下	R・F・クワン	古沢嘉通 訳	東京創元社	2022年の長編『バベル オックスフォード翻訳家革命秘史』でネビュラ賞長編部門とローカス賞ファンタジー長編部門を受賞。同書は2024年の中国・華語科幻星雲賞翻訳部門、百万釣魚城科幻大賞国際小説部門も受賞
	『世界の終わりの最後の殺人』	スチュアート・タートン	三角和代 訳	文藝春秋	
	『7』	トリスタン・ガルシア	高橋 啓 訳	河出書房新社	1981年生まれ。フランスの作家・哲学者。アラン・バディウやカンタン・メイヤスーらに哲学を学ぶ。2013年に『7』でアンテル文学賞を受賞。他の著書に『激しい生』など。
	『反転領域』	アレステア・レナルズ	中原尚哉 訳	東京創元社	ローカス賞・ドラゴン賞候補作
	『ヒロシマめざしてのそのと』	ジェイムズ・モロウ	内田昌之 訳	竹書房	シオドア・スタージョン記念賞受賞作。

冬木系一選 非ジャンルSF系のおすすめ

	『溺れる少女』	ケイトリン・R・キアナン	鯨井久志 訳	河出書房新社	ブラム・ストーカー賞受賞。 ジェイムズ・ティフトリー・ジュニア賞受賞。 [候補] 世界幻想文学大賞最終候補/英国幻想文学大賞最終候補/ネビュラ賞最終候補/ローカス賞最優秀ファンタジー小説賞最終候補/シャーリー・ジャクソン賞最終候補
	『呪いのウサギ』	チョン・ボラ	関谷敦子 訳	竹書房	2012年、ブラム・ストーカー賞、ジェイムズ・ティフトリー・ジュニア賞(現アザーワイス賞)を受賞。
	『秘儀』上・下	マリアーナ・エンリクス	宮崎真紀 訳	新潮社	
	『アトラス・パラドックス』上・下	オリヴィー・ブレイク	佐田千織 訳	早川書房	
	『ブレイグラウンド』	リチャード・パワーズ	木原善彦 訳	新潮社	